

令和5年6月22日

(公財)なら担い手・農地サポートセンター
理事長 山下 真 様

農地中間管理事業評価委員会
委員長 伊藤 忠通

農地中間管理事業評価委員会の評価及び意見

農地中間管理事業の推進に関する法律第6条第2項に基づき、令和4年度の農地中間管理事業の実施状況について、以下のとおり評価します。

【事業実績】

マッチング面積は年々増加傾向にあり、令和4年度は214.1haと事業実績は良好である。

【事業推進体制】

マッチングの増加に伴い、解約の増加やトラブル案件の増加など様々な課題も生じている。これに対応するためには、職員体制の充実が必要である。

なお、関係機関との連携によりマッチングを推進する「農地マネジメントチーム」については、令和5年度より対象市町村の拡大が図られる予定であり評価できる。

【制度周知】

広報の展開に当たっては、文字データよりも映像を利用した情報発信の方が効果的である。このため、SNSの活用においては、インスタグラムなど映像を主体とした広報について検討されたい。

【事業推進方法】

農地中間管理事業を継続して実施していくためには、経営の安定が必要である。このため、他府県事例などを参考に、収益事業等の実施について検討されたい。